

●この取扱説明書は大切に保管してください。

MAX

マックスタイムレコーダ

ER-60SU

取扱説明書



はじめに P.2～

設置して使用する P.8～

基本的な設定について P.12～

タイムレコーダを設定する P.16～

その他 P.23～

- ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- この取扱説明書の内容を無断で転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。



4100840(00/01)

はじめに

このたびは、マックスタイムレコーダER-60SUをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本書の表記について



お願い

タイムレコーダが故障し修理が必要になることが想定される操作や、原状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行なってはいけないことが書いてあります。



メモ

操作上のポイントおよび知っているとお利便なことが書いてあります。



参照

説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書および商品は、商品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことや物的損害のみの発生が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

■表示について



「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。



「気をつけるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。



「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。


警告

	● タイムレコーダは絶対に分解または改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	● 水、薬品などが機械にかからないようにしてください。万一内部に水などが入った場合は電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用するとタイムレコーダが故障したり、火災、感電の原因になります。
	● 煙が出ている変な音やにおいがするなど故障状態のときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。火災や感電の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● タイムレコーダの内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。タイムレコーダが故障したり、火災、感電の原因になります。 ● 電源はAC100V専用コンセントを使用してください。100V以外の電源を使用するとタイムレコーダが故障したり火災、感電の原因になります。 ● 電源は直接コンセントからとりタコ足配線はしないでください。火災の原因になります。 ● 電源コードの上に重いものを絶対にのせないでください。電源コードに傷がついて火災や感電の原因となります。 ● 傷がついたり、いたんだりした電源コード、ケーブルは使わないでください。火災・感電・故障の原因となります。 ● コネクタには直接手で触れないでください。静電気により故障の原因となることがあります。 ● 本体内部に異物をはさまるなどで、正常に動作しない場合は、必ず電源を切ってから取り除いてください。機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。

⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください。コードが破損して火災や感電の原因になります。● 長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。● 設置場所を移動するときや、壁に取り付けるときや取り外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。タイムレコーダが不意に動作したとき、けがや故障の原因になります。● インクリボンを交換するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。タイムレコーダが不意に動作したとき、けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">● 印字直後のプリンタヘッドには絶対に触らないでください。やけどの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">● 大きな容量を必要とする機器(冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等)とコンセントは共用しないでください。電圧が下がり機械が誤動作する可能性があります。● 紙や布をタイムレコーダの上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">● タイムレコーダは必ず水平に設置してください。不安定な場所に設置すると、倒れたり、台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。● 壁に掛けるときは、タイムレコーダの重さを十分支えられる壁にしっかりと固定してください。落ちたりして、けがや故障の原因になります。● 電源プラグは定期的に清掃してください。長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。● インクリボンを交換する際、万一、指や体にインクが付着した場合は、すぐに石鹸水で洗い流してください。

▶ 使用上の注意

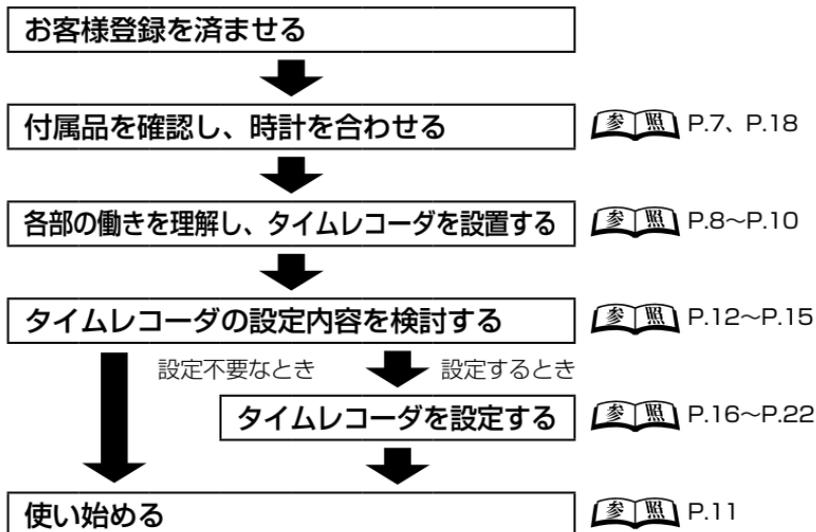
機械のトラブルを避けタイムレコーダの故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

- タイムレコーダの汚れを落とす際には乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶媒(アルコール、ベンジン、シンナーなど)や濡れ雑巾などは使用しないでください。機械が変形したり、変色することがあります。
- トラブルの原因になりますので、次のような場所では使用および保管をしないでください。
 - ・ 直接日光の当たる場所やヒーターなど熱源に近い場所
 - ・ ホコリや湿度の多い場所
 - ・ 振動や衝撃の加わる場所
 - ・ 温度が0℃以下、40℃以上になる場所で使用しないでください
 - ・ 温度が-20℃以下、60℃以上になる場所に保管しないでください
 - ・ 結露する場所
 - ・ ゴキブリなどのいる場所
- 落したり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。
- タイムカードは必ず専用の「ER-Sカード」または「ER-UDカード」をお使いください。また、折れ曲がったり、破れたり、濡れたカードは絶対に使用しないでください。
- インクリボンは必ず専用の「ER-IR103」をお使いください。
- カードの横のパンチ穴をふさいだり、破損させたりしないでください。タイムレコーダは、タイムカードのパンチ穴を読み取って印字欄を決定します。
- タイムカードを強く押し込んだり、印字中に抜いたりしないでください。カードは自動的に引き込まれ、自動的に戻ります。

もくじ

はじめに	2
本書の表記について	2
安全にお使いいただくために	2
使用上の注意	5
ご使用までの準備の流れ	7
付属品を確認する	7
設置して使用する	8
各部の名称とはたらきを知る	8
フロントカバーを開閉する	9
設置方法とカードの入れ方	9
置いて使う場合	9
寝かせて使う場合	10
壁に掛けて使う場合	10
毎日の打刻操作	11
普段の操作	11
特別なときの操作	11
基本的な設定について	12
締日を設定する	12
日付変更時刻を設定する	13
日付変更時刻を決める	14
深夜0時以降に働く方がいる場合	14
深夜0時前に出勤する方がいる場合	14
24時間営業で勤務時間帯が不規則な場合	15
使用カードを設定する	15
タイムレコーダを設定する	16
設定項目一覧	17
設定1の設定項目	18
時計合せ、締日、日付変更、使用カード、12/24	
設定2の設定項目	19
パスワード、表示向き、日付・人数、バックライト、現在日、サマータイム、コントラスト	
設定を確認する	22
その他	23
インクリボンを交換する	23
こんなときは	25
エラー一覧	26
メンテナンス	27
リポート印刷する	27
データクリアする	28
消耗品のお買い求めは	29
商品仕様	29
保証書とアフターサービス	30
保証書について	30
アフターサービスについて	30

ご使用までの準備の流れ



お手数ですが、弊社ホームページより「お客様登録」をお願いいたします。

URL https://wis.max-ltd.co.jp/user_regi/

または、本書の裏表紙の「お客様登録カード」にご記入の上、FAXにて弊社へご送付ください。アフターサービスに活用させていただきます。

付属品を確認する



取扱説明書
(本書) 1冊



設定確認
カード 1枚



壁掛け用
ネジ 2個



ソフトウェア
使用許諾契約書
1枚

 付属品はアフターサービス部品として取り扱っております。紛失の際は、お買い求めの販売店、またはマックスエンジニアリングサービス(株)各サービスステーション窓口にご注文ください。  (P.31)

 **お願い** 操作がわからなくなったときは、本書をお読みください。そのため、いつでも取り出せる場所に本書を大切に保管してください。

設置して使用する

各部の名称とはたらきを知る

カード挿入口
タイムカードを挿入します。

フロントカバー
インクリボンの交換や、
タイムレコーダを設定する
ときに取り外します。

表示画面
時刻・曜日などを表示し
ます。

出勤・外出・戻り・
退勤ボタン

通常はボタンを押さなく
ても自動的にこれらが選
択されます。
ボタンを押してからカー
ドを挿入すると、ボタン
が優先されます。(過去/
未来の時刻では印字でき
ません。)

徹夜ボタン
徹夜明けの退勤時に、こ
のボタンを押してから
カードを挿入します。

電源プラグ
コンセントに差込んで
ください。

バックカバー
(壁掛け用プレート)
壁掛けで使用するとき
に取り外し、フックとして
使います。

 (P.10)

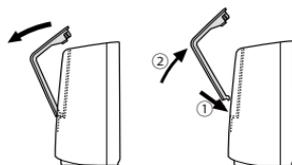
お願い 電源コードは束ねたまま使用しないでください。

▶ フロントカバーを開閉する

タイムレコーダを設定するときや、インクリボンを交換するときに取り外します。

参照 タイムレコーダの設定 (P.12)、
インクリボンの交換 (P.23)

お願い フロントカバーを外した状態でタイムカードを入れないでください。けがや故障の原因になります。



フロントカバーを
取り外す

フロントカバーを
取り付ける

設置方法とカードの入れ方

⚠ 注意



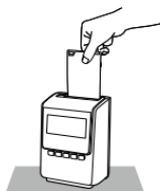
- タイムレコーダは必ず水平に設置してください。不安定な場所に設置すると、倒れたり、台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。
- 壁に掛けるときは、タイムレコーダの重さを十分支えられる壁にしっかりと固定してください。落ちたりして、けがや故障の原因になります。



- 設置場所を移動するときや、壁に取り付けるときや取り外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。タイムレコーダが不意に動作したとき、けがや故障の原因になります。

お願い カードが引き込まれ始めたら、手を離してください。また、カードの動きが完全に止まるまで、タイムレコーダから抜かないでください。打刻印字が上下の行にずれれる場合があります。

▶ 置いて使う場合



- タイムカードの印字する面が手前になるように、カード挿入口にカードを挿入します。自動的にカードが引き込まれ、打刻の後、自動的に排出されます。
- 通常は印字する段や印字欄が自動的に選択されます。

▶ 寝かせて使う場合

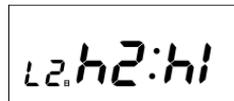


- タイムカードの印字する面が上向きになるように、カード挿入口にカードを挿入します。自動的にカードが引き込まれ、打刻の後、自動的に排出されます。
- 通常は印字する段や印字欄が自動的に選択されます。

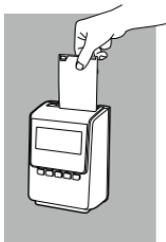
- 1 「設定2」の「表示向き」を横置き(yoco)に設定する

 参照 (P.20)

※時計表示が逆さまになり、24時間表示になります。



▶ 壁に掛けて使う場合

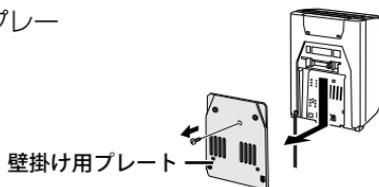


- タイムカードの印字する面が手前になるように、カード挿入口にカードを挿入します。自動的にカードが引き込まれ、打刻の後、自動的に排出されます。
- 通常は印字する段や印字欄が自動的に選択されます。

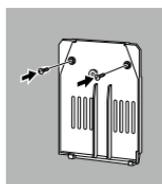
- 1 電源コードを本体底面方向にずらす



- 2 背面のネジを取り外し、壁掛け用プレートを取り外す



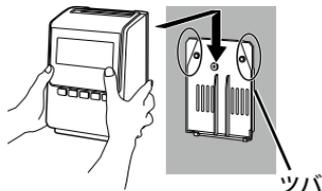
- 3 付属のネジ2個を使い、壁掛け用プレートを壁に取り付ける



4

タイムレコーダを壁掛け用プレートに
スライドさせながら取り付ける

お願い 壁掛け用プレートの両側のツバがタイムレコーダにきっちり納まっていることを確認してください。



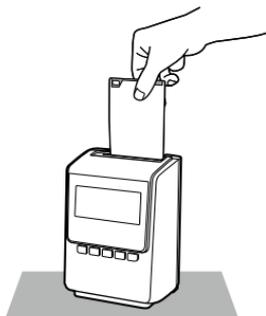
毎日の打刻操作

メモ カードにテープや付箋などを貼らないでください。印字する位置のずれや、タイムレコーダの故障につながる可能性があります。

▶ 普段の操作

出勤・外出・戻り・退勤のときは、タイムレコーダにカードを挿入するだけで正しく打刻されます。

メモ カードを入れ忘れた日は、次にカードを挿入する前に該当するボタンを押してください。ボタンで指定しないと、誤った位置に打刻されます。



▶ 特別なときの操作

次の場合は、カードを挿入する前に該当するボタンを押してください。

直前の打刻を忘れたとき



「日付変更」の設定時刻を過ぎてから退勤するとき
(初期値は午前3時)

参照 日付変更(P.18)

基本的な設定について

設定は、本体のフロントカバーを外してから開始し、終了したら元に戻してください。

 フロントカバーを開閉する(P.9)、設定項目一覧(P.17)

縮日を設定する

初期値は20日です。20日以外の場合のみ設定を変更してください。

ここでは、縮日を未縮(31日)に変更する場合を例に説明します。

1 設定を開始する

[設定開始] ボタンを3秒以上押す



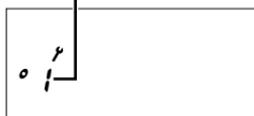
パスワードを設定している場合はパスワードを入力しないと設定できません。

 パスワード(P.19)

2 設定グループを選ぶ

[送り] または [戻し] ボタンを押して、設定グループを「1」に合わせ、[セット] ボタンを押す

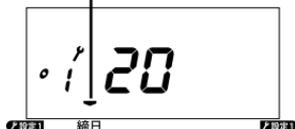
設定グループの番号



3 項目を選ぶ

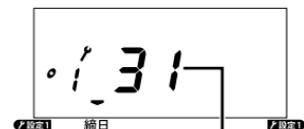
[項目送り] ボタンを押して、「縮日」にカーソルを合わせる

カーソル



4 設定したい縮日を選ぶ

[送り] または [戻し] ボタンを押し、設定したい縮日(未縮は31)に合わせ、[セット] ボタンを押す



点滅から点灯が表示が変化する



画面に「dAtA」と「cLEAr」が点滅した場合は、点滅中(60秒以内)にもう一度 [セット] ボタンを押してください。

※この操作を行うと、前日および当日までの出勤・退勤データがクリアされます。

5 設定を終える

[時計に戻す] ボタンを押す

日付変更時刻を設定する

初期値は3:00です。詳しくは、P.14をご覧ください。

ここでは、日付変更時刻を0:00に変更する場合を例に説明します。

1 設定を開始する

[設定開始] ボタンを3秒以上押す



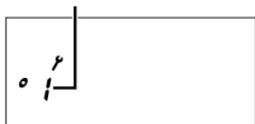
パスワードを設定している場合はパスワードを入力しないと設定できません。

参照 パスワード(P.19)

2 設定グループを選ぶ

[送り] または [戻し] ボタンを押して、設定グループを「1」に合わせ、[セット] ボタンを押す

設定グループの番号



3 項目を選ぶ

[項目送り] ボタンを押して、「日付変更」にカーソルを合わせる



4 設定したい時刻を選ぶ

[送り] または [戻し] ボタンを押し、設定したい時刻(24時間表記)に合わせ、[セット] ボタンを押す



点滅から点灯に表示が変化する

※マイナスにならないようにご注意ください。

参照 日付変更時刻を決める (P.14)



画面に「dAtA」と「cLEAr」が点滅した場合は、点滅中(60秒以内)にもう一度 [セット] ボタンを押してください。

※この操作を行うと、前日および当日までの出勤・退勤データがクリアされます。

5 設定を終える

[時計に戻す] ボタンを押す

日付変更時刻を決める

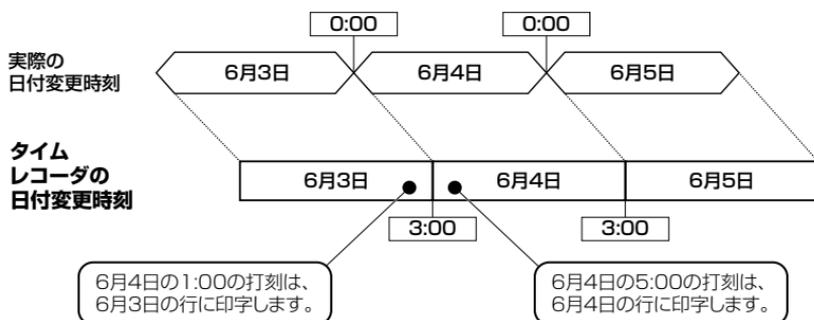
本製品では、午前3時に日付が変わるものとあらかじめ設定されています。これにより、午前0時を過ぎて3時まで、カードを挿入した際に早朝の出勤として扱わず、同じ日の退勤として打刻できます。

勤務形態に合わせて、最も適した時刻を日付変更時刻に設定してください。誰も勤務していない時間を選ぶことをお勧めします。

 参照 日付変更(P.18)

▶ 深夜0時以降に働く方がいる場合

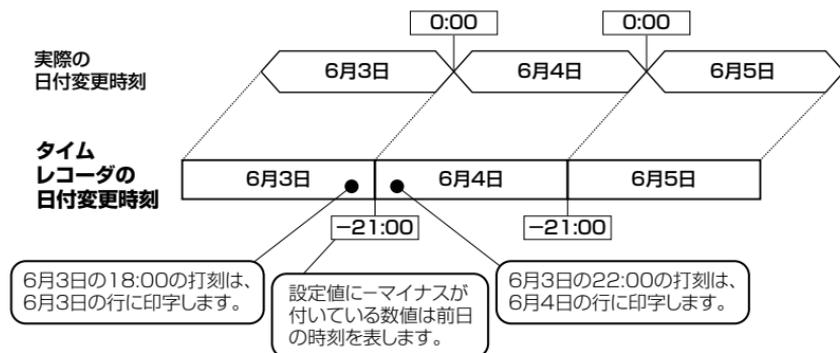
日付変更時刻を3:00(出荷時設定)など早朝に設定すると有効です。



▶ 深夜0時前に出勤する方がいる場合

日付変更時刻にマイナスを付け、前日の夜に設定すると有効です。

たとえば、前日の21時に設定する場合は、「-21:00」と設定します。21時以降の出勤を翌日の勤務として管理できます。



▶ 24 時間営業で勤務時間帯が不規則な場合

日付変更時刻を0:00に設定しておく、運用がわかりやすくなります。
午前0時を過ぎて退勤する際は、[徹夜]ボタンを押してからカードを挿入します。

 日付変更時刻を過ぎてでも有効なのは、[徹夜]ボタンを押してからの退勤のみです。[外出]ボタンや[戻り]ボタンによる休憩は、管理できません。

使用カードを設定する

初期値は「ER-Sカード」(4回打刻)です。「ER-UDカード」(2回打刻)では、見やすい大きな文字での印字ができます。

1 設定を開始する

[設定開始] ボタンを3秒以上押す



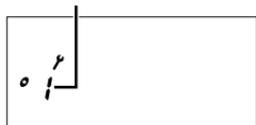
パスワードを設定している場合はパスワードを入力しないと設定できません。

 パスワード(P.19)

2 設定グループを選ぶ

[送り] または [戻し] ボタンを押して、設定グループを「1」に合わせ、[セット] ボタンを押す

設定グループの番号



3 項目を選ぶ

[項目送り] ボタンを押して、「使用カード」にカーソルを合わせる



4 使用したいカードを選ぶ

[送り] または [戻し] ボタンを押し、設定したいカード(「ER-Sカード」または「ER-UDカード」)を選び [セット] ボタンを押す



画面に「dAtA」と「cLEAr」が点滅した場合は、点滅中(60秒以内)にもう一度 [セット] ボタンを押してください。

※この操作を行うと、前日および当日までの出勤・退勤データがクリアされます。

5 設定を終える

[時計に戻す] ボタンを押す



「ER-Sカード」は前半16段・後半15段、「ER-UDカード」は前半15段・後半16段で印字されます。

※打刻(時刻の印字)のみでタイムカードをご使用される場合はここで設定完了です。

タイムレコーダを設定する

次ページの各設定項目は、以下の操作で設定できます。

1 フロントカバーを外す

 (P.9)

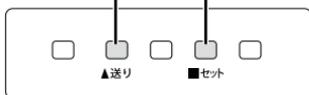
2 設定を開始する

3 秒以上押し続ける



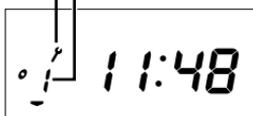
3 設定グループを選び、セットする

①番号を選ぶ ②セットする



設定マーク

設定グループの番号



4 項目を選ぶ



ボタンを押して…

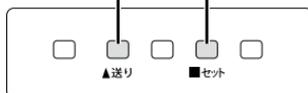
項目の上にカーソルを動かす



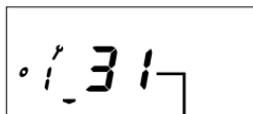
5 設定値を選択し、セットする

①設定値を選択する

②セットする
(ビピッと鳴る)



※時刻のように設定値が複数ある項目(時と分など)では、①～②を繰り返します。



点滅から点灯が表示が変化する

6 設定を終える



ほかの項目を設定するときは、②～⑥を繰り返します。

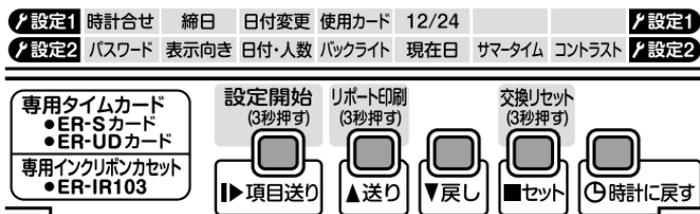
 パスワードを設定すると、②の直後にパスワード入力画面が表示されます。

 パスワード(P.19)

設定項目一覧

設定項目は2つのグループに分かれています。必要な項目を設定してください。

[設定変更] ボタンの項目は下図をご覧ください。



設定グループ	設定項目	設定内容	初期値
参照 (P.18~)	時計合せ	時計を合わせる	出荷時調整
	締日	締日を設定する	20日
	日付変更	日付を変更する時刻を設定する	3:00
	使用カード	使用するタイムカードを設定する	ER-Sカード
	12/24	時計の表示形式を設定する	12H
参照 (P.19~)	パスワード	設定変更時にパスワードを要求するよう設定する	設定なし
	表示向き	タイムレコーダを設置するときの向きを設定する	縦置き
	日付・人数	画面に日付または出勤人数を表示させる	日付
	バックライト	画面のバックライトを設定する	常時点灯
	現在日	現在の西暦と月日を設定する	出荷時調整
	サマータイム	サマータイムの開始日と終了日を設定する	設定なし
	コントラスト	表示画面のコントラストを調節する	出荷時調整

タイムレコーダを設定する

設定 1 の設定項目

[設定開始]ボタンを3秒以上押し続け、[セット]ボタンを押すと、以下の設定項目を選択できます。設定後は、[時計に戻す]ボタンを押します。あらかじめ、「操作の流れ」をお読みください。  (P.12)

▶ 時計合せ

初期値 工場出荷時に設定

以下の操作で設定します。

- 1 別の時計を参考に時を合わせ、[セット]ボタンを押す
- 2 分を1分後に合わせ、[セット]ボタンを押す
※秒のカウントが始まります。
- 3 別の時計で秒針が00になるときに、[セット]ボタンを押す
※タイムレコーダの秒針が00に戻ります。



▶ 締日

初期値 20

20日締め以外の場合に、設定を変更します。月末締めの場合は「31」に設定します。カードの「前半」面の最上段が、その月の開始日になります。

▶ 日付変更

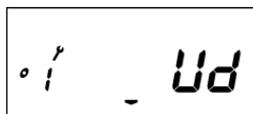
初期値 3:00

初期設定の3:00では、午前3時から翌日の午前2:59までを1日とします。誰も勤務していない時間に設定してください。マイナス値にも設定できます。

 詳しくは(P.14)



ER-S カード



ER-UD カード

使用するタイムカードを変更する場合に、設定を変更します。

詳しくは(P.15)

▶ 12/24

初期値 12H

時計の表示形式を設定できます。例えば、午後1時は12時間表示(12H)では「PM 1:00」と表示され、24時間表示(24H)では「13:00」と表示されます。

ただし、設定に関わらず、カードへの印字は24時間表示になります。

設定 2 の設定項目

[設定開始]ボタンを3秒以上押し続け、[送り]ボタンを1度押して「2」と表示してから[セット]ボタンを押すと、以下の設定項目を選択できます。設定後は、[時計に戻す]ボタンを押します。あらかじめ、「操作の流れ」をお読みください。 (P.16)

▶ パスワード

初期値 --- (設定なし)

設定を不用意に変えられないように、4桁の数字でパスワードを設定できます。

- 1 パスワードの1桁目を合わせ、[セット]ボタンを押す
- 2 パスワードの2桁目を合わせ、[セット]ボタンを押す
- 3 パスワードの3桁目を合わせ、[セット]ボタンを押す
- 4 パスワードの4桁目を合わせ、[セット]ボタンを押す
- 5 設定したパスワードを確認する

パスワードを設定した場合、[設定開始]ボタンを3秒以上押し続けたときに、パスワードの入力画面が表示されます。パスワードを入力しないと、設定を変更できません。



パスワードマーク

- 1 パスワードを1桁ずつ入力し、それぞれ [セット]ボタンを押す

パスワードを設定していない状態に戻すには、次のように操作します。

- 1 設定2グループの「パスワード」項目でパスワードの1桁目を「-」に合わせる

※表示が「---」になります。

- 2 [セット]ボタンを押す

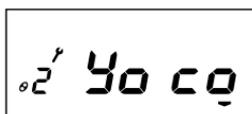
▶ 表示向き

初期値 tAtE (縦置き)

タイムレコーダを寝かせて使う場合は、横置き (yoco) に設定します。その他の場合は、縦置き (tAtE) に設定します。



縦置き (tAtE)



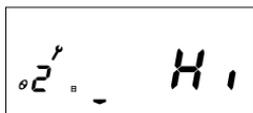
横置き (yoco)

▶ 日付・人数

初期値 Hi (日付)

画面に日付を表示するか、出勤人数を表示するかを設定できます。

出勤人数 (nin) に設定した場合、出勤時と戻り時に人数が増え、退勤時と外出時に人数が減ります。



日付 (Hi)



出勤人数 (nin)



画面の表示 (日付)



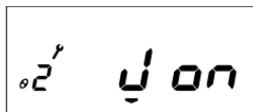
画面の表示 (人数)

 日付変更時刻を過ぎると、数字が残っていても退勤忘れとして0人になります。

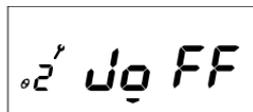
▶ バックライト

初期値 Jon (常時点灯)

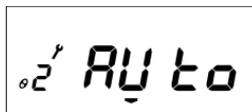
画面のバックライトの常時点灯/常時消灯/操作時点灯を設定できます。



常時点灯 (Jon)



常時消灯 (JoFF)



操作時点灯 (AUto)

▶ 現在日

初期値 工場出荷時に設定

現在の西暦と月日を設定できます。あらかじめ設定されているので、内蔵電池が消耗したり、メンテナンスのためにオールクリアを行ったりして、現在日の設定が消えたときに行ってください。

お願い 打ち忘れや、まとめ打ちのために現在日を変更しないでください。計算時間帯や人数表示、打刻欄のデータが消え、正しく集計されなくなるだけでなく、予測不能な誤作動や故障の原因になります。

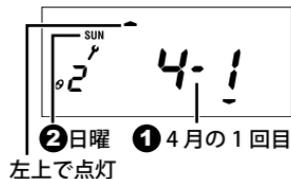
▶ サマータイム

初期値 --- (設定なし)

サマータイム制度を導入する場合に設定してください。設定したサマータイム期間の間、時計を1時間早めます。

1 サマータイムの開始月と開始する曜日がその月の何回目かを合わせ、[セット]ボタンを押す

2 サマータイムの開始日の曜日に合わせ、[セット]ボタンを押す



3 サマータイムの終了月と終了する曜日がその月の何回目かを合わせ、[セット]ボタンを押す

4 サマータイムの終了日の曜日に合わせ、[セット]ボタンを押す



5 交互に点滅する開始日と終了日を確認する

▶ コントラスト

初期値 工場出荷時に設定

表示画面のコントラスト(弱: cnt1~強: cnt9)を調整できます。

設定を確認する

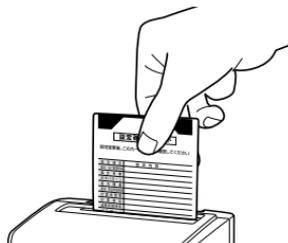
1 [時計に戻す]ボタンを押す

2 フロントカバーを取り付ける

 (P.9)

3 付属の「設定確認用カード」をカード挿入口に挿入する

※自動的に印字されます。



4 印字された「設定確認用カード」で、設定内容を確認する

※想定した設定内容になっていない場合は、設定を見直します。

設定項目	設定内容
休日・日付変更時刻	20日 3:00
集計有無	
印字パターン	
表示関連	12H 行日
遅刻・早退判別時刻	

 「設定確認用カード」を追加購入する際は、マックスエンジニアリングサービス(株)各サービスステーションにご用命ください。 (P.31)

※設定確認用カードを使わずに設定を印字する場合は、レポート印刷する(P.27)をご参照ください。

インクリボンを交換する

印字が薄くなった、またはインクリボン交換時期お知らせマークが表示されたら、早めに専用インクリボン「ER-IR103」（別売）と交換してください。

インクリボン交換時期
お知らせマーク



インクの補充はできません。お求めは、タイムレコーダのお買い上げ店またはお近くの文具・事務機販売店にご用命ください。

⚠ 注意



● 印字直後のプリンタヘッドには絶対に触らないでください。やけどの原因になります。



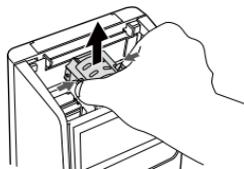
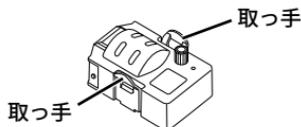
● インクリボンを交換するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。タイムレコーダが不意に動作したとき、けがの原因になります。



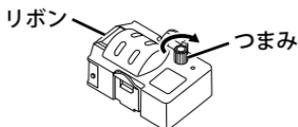
● インクリボンを交換する際、万一、指や体にインクが付着した場合は、すぐに石鹸水で洗い流してください。

1 電源プラグをコンセントから抜き、タイムレコーダからフロントカバーを取り外す  (P.9)

2 インクリボンの2つの「取っ手」を指ではさんで持ち上げ、取り外す



3 新しいインクリボンを用意し、「つまみ」を矢印方向に回して、リボンのたるみを取る

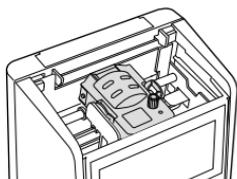


※リボンがピンと張るまで十分に巻きます。

お願い 逆に巻かないでください。使用できなくなります。

 エンドレスリボンなので、巻き取った部分も印字に使います。

4 インクリボンをタイムレコーダに取り付ける

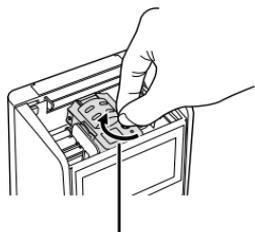


5 必ずインクリボンの「つまみ」を矢印方向に5回程度まわして、リボンのたるみを取り除く

※リボンが正しくセットされていること、ねじれがないことを確認します。

お願い つまみを逆に回さないでください。使用できなくなります。

✕ エンドレスリボンなので、つまみを回しても使用回数は減りません。



矢印方向に5回程度まわす

6 フロントカバーを取り付け、電源プラグをコンセントに差し込む

7 未使用のタイムカードを挿入して、印字を確認する

8 フロントカバーを取り外す

9 [交換リセット] ボタンを3秒以上押し続ける

10 [セット] ボタンを押して、インクリボン交換時期お知らせマークの消灯を確認する

11 フロントカバーを取り付ける

こんなときは

印字や動作に異常があるときは、まず下表に従ってチェックし、対応してください。

現象	チェック方法	対応
カードに印字できない	インクリボンが正しくセットされていますか？	インクリボンを正しくセットします。
タイムカードが入らない	カードに曲がり、破損がないですか？	新しいカードを使います。
カードがタイムレコーダから出てこない	印字途中、電源プラグが抜かれていますか？	電源プラグを差込み直します。
印字する段がずれる	印字中にカードを押し込んだり、ひっばったりしていませんか？	カードを軽く挿入します。
	カードにシールなどが貼ってありませんか？	何も貼っていないカードを使います。
	「使用カード」の設定は正しいですか？	「使用カード」の設定を確認します。  (P.19)
	「締日」、「日付変更時刻」の設定は正しいですか？	「締日」、「日付変更」の設定を確認します。  (P.18)
	その日は「1日」ですか？	1日は前月31日の次の行に印字されます。そのため、前月が31日までない月の場合、1日の前に空欄ができます。
印字が薄い	インクリボン交換マークが表示されていませんか？	新しいインクリボンに交換します。

以上の処置を行って正常に動作しない場合は、お買い上げ店またはお近くのマックスエンジニアリングサービス(株)窓口までご相談ください。

 (P.31)

エラー一覧

カードをタイムレコーダに入れたとき、エラー音(ピッピッピッピッ)が鳴り、エラー番号が表示されたときは、下表に従って対応してください。

エラー番号	考えられる原因	対応
E-00	自動送りされる位置までタイムカードが入っていない。	タイムカードが自動送りされるまで、軽く押し込んでください。
E-01	タイムカードの裏表上下が間違っている。	タイムカードを正しい向きで入れてください。 締日を確認してください。締日の翌日が前半の1段目に印字されます。
E-02	パンチ穴が正常に読めない。	タイムカードが自動送りされたら、手を離してください。 タイムカードの曲がりなどがないか確認してください。 背面の壁掛け用フックを取り外し、異物がないか、壁、センサーに汚れがついてないか確認してください。
E-04	すでに退勤打刻が終了している。	日付変更時刻を過ぎた退勤では[徹夜]ボタンを押してください。
	すでに打刻済みの印字欄を選択して打刻しようとした。	同じ印字欄には打刻できません。
E-05	その月の使用人数が最大人数を越えている。	最大人数を超えたご使用はできません。  (P.28)
E-08	使用済みのタイムカードを入れた。(裏面のみ使用済み含む)	新しいタイムカードをご使用ください。
E-09	レポート印刷時に使用中のタイムカードが使われた。	新しいタイムカードをご使用ください。
E-19	レポート印刷時に使用できないタイムカードが使われた。	「ER-Sカード」または「ER-UDカード」をご使用ください。
E-34	サマータイムの設定に誤りがある。	正しく設定してください。  (P.13, P.21)
	本体の設定に矛盾がある。	
E-69 00 E-69 01 E-69 02	自動送りされても、タイムカードがスムーズに入っていない。(出いかない)	E-02と同じ対応をしてください。
E-EE	プリンターに異常が発生した。	電源プラグを抜き差ししてください。 修理窓口へお問い合わせください。
E-PS	パスワードが間違っている。	正しいパスワードを確認してください。  (P.19)
E-CC	マックス専用タイムカードではない可能性があります。	「ER-Sカード」または「ER-UDカード」をご使用ください。

メンテナンス

▶ リポート印刷する

設定内容を確認するときは、リポート印刷を行います。

1 フロントカバーを取り外す  (P.9)

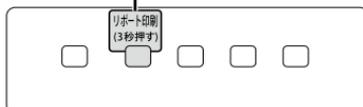
2 [リポート印刷]ボタンを3秒以上押し続ける

※「01 rEPo」と表示されます。

01 rEPo

リポート番号

3秒以上押し続ける



3 フロントカバーを取り付ける

4 新しいカードをタイムレコーダに挿入する

5 リポート印刷が終わったら、フロントカバーを取り外し、[時計に戻す]ボタンを押す

6 フロントカバーを取り付ける

- 7 リポート番号01 設定内容の確認をする。
設定内容は下記の順で印字されます。

印字される内容
設定した締日、日付変更時刻
12H/24H 表示、縦置き / 横置き、日付 / 人数
パスワードが設定されている場合は****と印字されます
バックライト 常時 ON/ 常時 OFF/AUTO
サマータイム開始日、終了日
使用しているカード S カード / UD カード
コントラスト 1 ~ 9
インクリセット日、残量目安
インク使用回数
最後に設定を変更した日
最後にデータクリアを行った日

▶ データクリアする

試用運転をしたあとで本使用に移る場合など、その月の累計使用人数が最大人数を超えてしまうときは、次の操作で打刻のデータクリアをします。

お願い 全従業員が出勤する前、または退勤したあとに行ってください。

お願い 全員のタイムカードのデータが消去されます。個別に消去することはできません。

 インクリボンの使用回数はリセットされません。

- 1 フロントカバーを取り外す  (P.9)
- 2 [送り]ボタンを押したまま、[時計に戻す]ボタンを5秒以上押し続ける
※「C-05」と表示されます。
- 3 [セット]ボタンを押す
※自動的に時計表示に戻ります。
- 4 フロントカバーを取り付ける



消耗品のお買い求めは

タイムカードとインクリボンのお求めは、タイムカードの販売店またはお近くの文具・事務機販売店にご用命ください。

専用タイムカード	ER-Sカード、ER-UDカード
専用インクリボン	ER-IR103

商品仕様

商品名	ER-60SU
電源	AC100V 50/60Hz
外形寸法	202 (H) × 140 (W) × 99 (D) mm
質量	約1.7kg
消費電力	通常4W、最大40W
時計機構	水晶発振式
表示部	液晶(白色バックライト付き)
印字内容	日付、曜日、時分、(チ)、(ソ)、(テ)
メモリー保持	工場出荷時から停電累計3年間
使用人数	最大100人
使用温度	0~40℃
使用湿度	10~85% ただし結露なきこと

保証書とアフターサービス

▶ 保証書について

- 保証書は本取扱説明書の最後にあります。
- 保証期間中万一故障した場合、保証書記載内容に基づき無料修理いたします。
- 保証期間後の修理は、お買い求めの販売店、弊社営業拠点、またはマックスエンジニアリングサービス(株)各サービスステーション窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

▶ アフターサービスについて

- お買い求めの販売店、または弊社営業拠点、マックスエンジニアリングサービス(株)各サービスステーションにご相談ください。 (P.31)
- タイムレコーダは修理の際、全てのお客様に対して、センドバック方式(持ち込み修理)のみとなります。故障時は元払いでお送りください。出張修理は行っておりません。また、修理期間中の代替機貸し出し、修理期間中のデータ入力、修理機内のデータ保証などは行っておりません。予めご了承ください。

ご不明な点は下記へお問合せください

ホームページ：<http://www.max-ltd.co.jp/op/>

お客様相談ダイヤル：**0120-510-200**

「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

※「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

通話内容是对応品質向上のため録音させていただいております。

本社・営業本部	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8108(代)
支店・営業所			
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022) 236-4121(代)
東京支店	〒103-8502	東京都中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8141(代)
名古屋支店	〒462-0819	名古屋市北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8620(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06) 6444-2031(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL (092) 411-5416(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-7	TEL (019) 621-3541(代)
静岡営業所	〒420-0067	静岡市葵区幸町29-1	TEL (054) 205-3535(代)
マックス販売(株)			
埼玉営業所	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5340(代)
四国営業所	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL (087) 866-5599(代)
マックスエンジニアリングサービス(株) [修理窓口]			
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 231-6487(代)
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022) 237-0778(代)
東京サービスステーション	〒190-0022	東京都立川市錦町5-17-19	TEL (042) 548-5332(代)
名古屋サービスステーション	〒462-0819	名古屋市北区平安2-4-87	TEL (052) 918-8624(代)
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06) 6446-0815(代)
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL (092) 451-6430(代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

マックス株式会社 オフィスプロダクツ営業部

〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6

<<保証書>>

本書はご購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理することをお約束するものです。修理は必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

<無料修理規定>

- 1 取り扱い説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に、無料で修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。
 - (ロ) ご購入の販売店にご依頼にならない場合は、お近くのマックス(株)またはマックスエンジニアリングサービス(株)にご相談ください。
- 2 保証期間内でも次のような場合には有料となります。
 - ① 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - ② ご購入後の移動、落下あるいは輸送などによる故障および損傷
 - ③ 火災、地震、風水害、落雷その他天変地異、損害、ガス害、異常電圧、指定外電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
 - ④ 本保証書のご提示がない場合
 - ⑤ 本保証書にご購入年月日、お客様名、ご購入販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - ⑥ 消耗品、付属品などの交換や指定の手入れを怠ったことに起因する故障および損傷
- 3 本製品の故障などに伴う2次の損害に対する保証はいたしません。
- 4 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid in Japan
- 5 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
 - *保証期間、機種名、シリアル番号は下記に記載されています。
 - お客様へのお願い お手数ですが、ご住所、会社名、ご担当者、電話番号をわかりやすくご記入ください。
 - 販売店様へ ご販売日、貴社名、住所、電話番号をご記入の上、保証書をお客様へお渡しください。

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。お客様登録は、ご登録頂いたお客様に、今後大切なお知らせをするために必要なものです。次のいずれかで至急ご登録くださいますようお願い申し上げます。

①インターネットにて登録の方	URL https://wis.max-ltd.co.jp/user_reg/
ホームページでスピーディーにお客様登録ができます。上記URLにアクセスしてください。	
②FAXにて登録の方	FAX 0120-226-122 (24時間受付)
下記の記入欄に必要事項をご記入の上、送信してください。	

*空欄には必要事項を、□には✓をご記入ください。

お客様登録カード

FAX用

お客様	法人名			従業員数
	部署名			
	おなまえ			
	お名前			
	おところ 〒	都道府県	区市町村	
	電話番号 () - (内線)	FAX番号 () -		
	メールアドレス			
ご購入日	業種	<input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 公共施設 <input type="checkbox"/> 交通機関 <input type="checkbox"/> 店舗 <input type="checkbox"/> 官公庁 <input type="checkbox"/> 土木 <input type="checkbox"/> 建設 <input type="checkbox"/> 各種学校 その他()		
20 年 月 日				
ご購入販売店名、住所、電話番号				

保証期間 (ご購入日から)	3年
------------------	----

個人情報の取扱いについて

お客様からご提供いただいたお客様の氏名・住所電話番号およびご使用中の弊社製品に関する情報は、新製品情報・イベントのご案内や弊社製品・サービスの質の向上のために利用させていただきます。